

教科(科目)	書道 I	単位数	2単位	学年	1学年
使用教科書	教育図書『書 I』				
副教材等	なし				

### 1 学習目標

授業を通し、生涯にわたり書を愛好する心情を育て、感性を豊かにし、書写能力をや表現と鑑賞の基礎的能力を伸ばすとともに、書の伝統と文化について理解させる。

### 2 指導の重点

昨今の傾向により書写や書道の経験が無く、初めて書に触れるという生徒も少なくない。そういった生徒から経験を有する生徒までが順路立てて学習できるように、

- ①用具用材の基礎的な取り扱いや表現との関係の習得を目指します。
- ②書写との関連をはかり古典に基づく用筆・運筆の習得を目指します。
- ③個々の意図に基づく表現方法の習得を目指します。

### 3 指導計画

月	単元名	教材	主要学習領域	学習活動(指導内容)	時間	評価方法
4	書的美を求めて	1書に親しもう	書写と書道の関連	書写と書道、書の分野についての理解	4	
		2用具・用材を知ろう	「文房四宝」とその性能	用具・用材の理解		
		3姿勢・執筆法を身につけよう	基本の姿勢・執筆宝	姿勢・執筆法の理解と習得		
		4調和よく書いてみよう	基本点画の習得	基本的用筆法・運筆法の理解と習得		
		5書的美を探ろう	書の表現と鑑賞について	書の表現と鑑賞の理解		
5~6	楷書の学習	楷書の古典に学ぼう	様々な楷書	書表現の多様性の理解	12	提出作品制作態度制作過程
		九成宮醴泉銘・孔子廟堂碑	厳正と温雅	両古典の比較を通して特徴と書法を理解し用筆方を習得する		
		建中告身帖・雁塔聖教序	重厚と軽快	両古典の比較を通して特徴と書法を理解し用筆方を習得する		
		牛橛造像記・鄭羲下碑	方勢と円勢	両古典の比較を通して特徴と書法を理解し用筆方を習得する		
7	作品制作①	漢字作品制作	臨書から創作へ	古典学習で習得した用筆法を用い漢字作品を制作	6	
7~10	作品制作②漢字仮名交じりの書の学習	文化祭作品制作 書きたい思いをことばに	臨書から創作へ 漢字仮名交じりの書の創作及び鑑賞	漢字と仮名の調和を図り作品を制作する 文字の大きさ、字形、配置、書体などを工夫し作品を制作する 作品鑑賞及び自己評価	12	
10~11	行書の学習	行書の特徴	行書の成立と特徴の理解	基本的用筆法・運筆法の理解と習得	6	
		蘭亭序	規範行書の理解と習得	規範となる行書を理解し習得する		
		争座位稿	流暢かつ重厚な行書表現の理解と習得	流暢かつ重厚な表現技法の習得		
11~12	作品制作③	行書作品の制作	半切作品制作	古典学習で習得した用筆法を用いて半切の臨書作品を制作	8	
12~1	仮名の学習	高野切題一種	平仮名と変体仮名	仮名の用筆法の習得と平仮名・変体仮名についての理解	4	
1~3	刻書の学習	刻書を学ぼう	表札の制作	日常の中で生きる書の理解と刻書の技法を習得	12	
年間授業時数合計					64	(55分授業)

### 4 課題・提出物等

- ・各単元の最後に作品を提出してもらいます。
- ・実習では過程の自己点検や自己評価などを行います。
- ・長季休業中の課題は別途指示します。

### 5 評価規準と評価方法

書への関心・意欲・態度	書の創造的活動の喜びを味わい、書の伝統と文化に関心をもって、主体的に表現や鑑賞の創造的活動に取り組もうとしている。
書表現の構想と工夫	書表現の諸要素を感受し、感性を働かせながら、自らの意図に基づいて構想し、表現を工夫している。
創造的な書表現の技能	創造的な書表現をするために、書の効果的な表現の技能を身につけて表している。
鑑賞の能力	文字や書の伝統と文化について幅広く理解し、その価値を考え、書の良さや美しさを創造的に味わっている。

以上の観点から、授業での様々な実習の取り組み方や、学習意欲、提出物の内容などから総合的に評価を行います。

### 6 担当者からの一言

「書は人なり」といいます。手書きの字は生涯あなたの生活と隣り合わせであり、あなた自身を映し出す鏡です。書道芸術に親しみ、人生を心豊かに生きるための力を養ってください。

教科(科目)	書道Ⅱ	単位数	2単位	学年	2学年
使用教科書	教育図書『書Ⅱ』				
副教材等					

## 1 学習目標

授業を通し、書を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、書の文化や伝統についての理解を深め、個性豊かな表現と鑑賞の能力を伸ばす。

## 2 指導の重点

- 書道Ⅰで身に付けた技術と感性をより深めるために、
- ①書体や書風に即した用筆・運筆の習得を目指します。
  - ②古典に基づく表現の工夫と個性的な表現を目指します。
  - ③個々の意図に基づく素材の選定、表現の構想と工夫を目指します。

## 3 指導計画

月	単元名	教材	主要学習領域	学習活動(指導内容)	時間	評価方法
4~6	篆書の学習	甲骨文 金文 泰山刻石	様々な篆書体	篆書の歴史的位相付の理解	6	提出作品 制作態度 制作過程
			篆書(小篆)の鑑賞と臨書	篆書(小篆)の用筆・運筆、結構の特徴の理解と習得		
			金文の鑑賞と臨書	金文の用筆・運筆、結構の特徴の理解と習得		
			篆刻	篆書の知識と技法を活かした印づくり		
隷書の学習	帛書・木簡 ・礼器碑・石門 頌・張遷碑・漢 乙瑛碑 代木簡	様々な隷書体	隷書の歴史的位相付の理解	6		
		乙瑛碑の鑑賞と臨書	乙瑛碑の用筆・運筆、結構の特徴の理解と習得			
		漢代木簡の鑑賞と臨書	漢代木簡の用筆・運筆、結構の特徴の理解と習得			
		隷書による創作と鑑賞	隷書の技法を活かした作品の制作と鑑賞			
仮名の学習	寸松庵色紙	仮名の書の臨書と鑑賞	仮名の用筆方習得と散らし書きの理解	6		
7	作品制作①	競書大会課題	各自選択課題による書表現	半紙作品の制作を通じて、各自の技法と表現方法を深める	6	
7~9	作品制作② 漢字仮名交じりの書の学習	漢字かな交じり書 書きたい思いをことばに	文化祭作品制作 漢字仮名交じりの書の創作及び鑑賞	漢字と仮名の調和を図り作品を制作する 文字の大きさ、字形、配置、書体などを工夫し作品を制作する 作品鑑賞及び自己評価	10	
10~12	刻書の学習	各書体	刻書の制作方法とその表現及び鑑賞	刻書の学習を通してその制作過程を理解し、表現方法を習得する	18	
1~2	行書・草書の学習	喪乱帖・蜀素帖	古典の鑑賞と臨書	古典の比較を通してそれぞれの特徴と書法を理解し、その表現方法を習得する	6	
2~3	作品制作②	行書・草書体	行草作品の共同制作	国語で学習途中の漢文を行草体で共同制作する	6	
年間授業時数の合計					64	(55分授業)

## 4 課題・提出物等

- ・各単元毎に作品を提出してもらいます。
- ・実習では過程の自己点検や自己評価を行います。
- ・長季休業中の課題は別途指示します。

## 5 評価基準と評価方法

書への関心・意欲・態度	書の創造的活動の喜びを味わい、書の伝統と文化に関心をもって、主体的に表現や鑑賞の創造的活動に取り組もうとしている。
書表現の構想と工夫	書表現の諸要素を感受し、感性を働かせながら、自らの意図に基づいて構想し、表現を工夫している。
創造的な書表現の技能	創造的な書表現をするために、書の効果的な表現の技能を身につけ表している。
鑑賞の能力	文字や書の伝統と文化について幅広く理解し、その価値を考え、書の良さや美しさを創造的に味わっている。

## 6 担当者からの一言

「書は人なり」といいます。手書きの字は生涯あなたの生活と隣り合わせであり、あなた自身を映し出す鏡です。書道芸術に親しみ、人生を心豊かに生きるための力を養ってください。

教科(科目)	書道Ⅲ	単位数	2単位	学年	3学年
使用教科書	教育図書『書Ⅲ』				
副教材等					

### 1 学習目標

授業を通し、生涯にわたり書を愛好する心情と書の文化や伝統を尊重する態度を育てるとともに、感性を磨き、個性豊かな書の能力を伸ばす。

### 2 指導の重点

- 書道Ⅰ・書道Ⅱの学習で身に付けた技術と感性をより深めるために、
- ①古典による書の伝統の理解と書体の特色を生かした表現の深化を目指します。
  - ②主体的な構想に基づく個性的・創造的な表現を目指します。
  - ③日本及び中国等の書の伝統と諸文化との関連の理解を目指します。

### 3 指導計画

月	単元名	教材	主要学習領域	学習活動(指導内容)	時間	評価方法
4～5	書体の変遷と各書体の用筆法	篆書 隸書 楷書 行書 草書 仮名	甲骨文から草書体へ草書体から平仮名への変遷の比較を通じた各時代の特徴とその背景の理解	文字の成り立ちから各時代の歴史的背景と変化についての理解 各書体の用筆・運筆、結構の特徴の理解と習得 各技法を活かした作品の制作と鑑賞	12	提出作品制作態度制作過程
5～6	作品制作①	臨書作品制作(1/2半切)	各自課題設定による書表現	臨書作品(半切1/2)の制作を通じて、各自の技法と表現方法を深める	14	
7～9	作品制作②	創作作品制作(文化祭展示作品)	各自課題設定による書表現	創作作品制作を通じて、生活の中にある書を考える	12	
10～12	作品制作③	漢字の書による作品制作	古典学習を通じて学んだ漢詩等を書作品で表現する	芸術と他教科の学習を繋げることにより、表現活動の意味を深めさせるとともに、創作活動により表現の技術を学ぶ	18	
12～1	実用書	芳名帳、のし袋、	生活の中の書の創作及び鑑賞	漢字と仮名の調和を図り作品を制作する 文字の大きさ、字形、配置、書体などを工夫し作品を制作する 作品鑑賞及び自己評価	8	
年間授業時数					64	(55分授業)

### 4 課題・提出物等

- ・各単元毎に作品を提出してもらいます。
- ・作品制作では過程の自己点検や自己評価を行います。
- ・長季休業中の課題は別途指示します。

### 5 評価基準と評価方法

書への関心・意欲・態度	書の創造的活動の喜びを味わい、書の伝統と文化に関心をもって、主体的に表現や鑑賞の創造的活動に取り組もうとしている。
書表現の構想と工夫	書表現の諸要素を感受し、感性を働かせながら、自らの意図に基づいて構想し、表現を工夫している。
創造的な書表現の技能	創造的な書表現をするために、書の効果的な表現の技能を身につけて表現している。
鑑賞の能力	文字や書の伝統と文化について幅広く理解し、その価値を考え、書の良さや美しさを創造的に味わっている。

### 6 担当者からの一言

「書は人なり」といいます。手書きの字は生涯あなたの生活と隣り合わせであり、あなた自身を映し出す鏡です。書道芸術に親しみ、人生を心豊かに生きるための力を養ってください。

書への関心・意欲・態度
書表現の構想と工夫
創造的な書表現の技能
鑑賞の能力

書の創造的活動の喜びを味わい、書の伝統と文化に関心をもって、主体的に表現や鑑賞の創造的活動に取り組もうとする

書表現の諸要素を感受し、感性を働かせながら、自らの意図に基づいて構想し、表現を工夫している。

創造的な書表現をするために、書の効果的な表現の技能を身に付け表している。

文字や書の伝統と文化について幅広く理解し、その価値を考え、書のよさや美しさを創造的に味わっている。